

# Precision Flow PLUS

プレジジョンフロープラス® 簡易取扱説明書

## プレジジョンフロープラス® 簡易取扱説明書

この簡易取扱説明書はプレジジョンフロープラス®の基本的なセットアップと使用方法について説明しています。  
ベーパーサームプレジジョンフロープラス®をご使用する前に必ず添付文書および取扱説明書をお読みください。



チューブ閉塞

システムエラー

滅菌水切れ

アラームミュートランプ

アラームミュートボタン

コントロールノブ

バッテリーインジケーター

ウォーターパス不良・未接続

低流量カートリッジ

高流量カートリッジ

カートリッジ不良

ガス供給

ステータスランプ

作動/スタンバイボタン

各部の名称

### 患者回路の組み立て

- 1 ウォーターパスに高流量 (High) もしくは低流量 (Low) のカートリッジを取り付けます。
- 2 ウォーターパスにデリバリーチューブを接続します。
- 3 ドッキングステーションが見えるように本体横のドアを開けます。
- 4 組立てた患者回路をドッキングステーションにはめ込みます。
- 5 ドアを閉めます。
- 6 ポールに滅菌水を吊るします。
- 7 スパイクを拭き滅菌水バッグに差し込みます。
- 8 プレジジョンフロープラス®の作動準備ができました。

### 作動

- 1 作動/スタンバイボタンを押すとステータスランプが橙色から緑色の点滅に変わります。
- 2 ガス流量、ポンプ、ヒーターが作動します。
- 3 デリバリーチューブ内に水が満たされます。

### 流量、酸素濃度、温度の調整

- 1 コントロールノブを押してください。
- 2 ディスプレイの値が点滅します。
- 3 点滅中にノブを回して値を変更してください。
- 4 再度ノブを押すと変更が決定され、次の項目へ進み値の変更ができます。

### 患者への取り付け

ステータスランプが緑の点滅から点灯に変わること設定値に到達したことを知らせます。

- 1 デリバリーチューブにカニューラを取り付けます。
- 2 カニューラを接続した後、患者に取り付けます。

### バッテリーバックアップモード

電源が遮断されると、内蔵バックアップバッテリーモードが起動し、ステータスランプが橙色に点滅します。

- 1 本体はバッテリーモードに入ると、流量、酸素濃度は少なくとも15分間は維持し続けます。
- 2 バッテリーインジケーターアイコンが点滅します。

### 停止

- 1 作動/スタンバイボタンを長押し(2秒)し、本体を停止させてください。本体はスタンバイモードに入ります。
- 2 ウォーターインレットチューブをクランプし、スパイクをバッグから引き抜いてください。
- 3 ドアを開け、カートリッジとデリバリーチューブの付いたウォーターパスをドッキングステーションから上に引き抜くようにして取り外してください。
- 4 病院のガイドラインに基づいて患者回路を廃棄してください。
- 5 電源から電源コードを抜いてください(本体にはON/OFFスイッチがありません)。
- 6 本体使用后、メイン本体を清潔に保つために70-90%イソプロピルアルコール、2%以下の塩素系洗剤(次亜塩素酸ナトリウム)、6%以下の過酸化水素洗剤で拭いてください。

# アラーム表






アラームアイコン	アラーム音	内容	原因	対応
	重要度 中 ミュート不可	センサーもしくはシステムの故障。	内蔵部品の異常。	患者から取り外し、本体を停止させ、製造販売元へ問い合わせる。
	重要度 中 ミュート不可	酸素センサー異常。	センサーの消耗もしくは異常。	本体の電源を落としてリセットする。 酸素センサーを交換する。 本体を再起動させる。
	重要度 中 ミュートボタンで5秒以内の消音可能。	高いバックプレッシャーがかかっている。	●カニューラ/デリバリーチューブの閉塞かキック。 ●流量に適合していないカニューラの使用。 ●患者回路が正しく取り付けられていない。	閉塞を解除しカニューラのサイズを確認して患者回路の取り付けをやり直す。
	重要度 中	ウォーターパス内に水が無い。ガスが加温、循環していない状態で流れ続けている。	滅菌水が空もしくはインレットチューブが閉塞している。	患者から回路を外す。 滅菌水バッグを交換する、もしくはインレットチューブをまっすぐにする。 本体を再起動させる。
	重要度 中	ウォーターパスの異常もしくは検知されていない。 本体が作動しない。	ウォーターパスが異常、もしくはしっかりと接続されていない、もしくは検知されていない。	ウォーターパスがある場合は、一度取り出し、再度本体に接続させて再認識させる。
	なし	内蔵バッテリーがフル充電されていない。 電源が落ちた場合、バッテリーモードで駆動可能な時間(15分間)までバッテリーが持続しない。 対策は不要です。		
	重要度 中	本体がバッテリーモード中。加温と循環がしていない状態でガスの混合と流れが持続している。	AC電源に接続されていない。	AC電源に接続する。

製造販売元

**Next 日本メディカルネクスト株式会社**

〒541-0042 大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋  
TEL : 06-6223-0602 FAX : 06-6222-6181

・プレジジョンフロープラス®はMRI装置に適合していません  
・プレジジョンフロープラス®は院外搬送用で使用するためのテストは行っていません

アラームアイコン	アラーム音	内容	原因	対応
	重要度 中	カートリッジと患者回路もしくはどちらかが検知できていない。本体は作動しない。	作動モードにおいて、センサーの異常もしくはカートリッジが検知されていない。	患者から取り外す。 本体から患者回路を取り出す。カートリッジを確認して取り付ける。 センサー部分の汚れを取り除く。
	重要度 低	循環水の中に気泡が入っている。本体は作動し続ける。	カートリッジファイバー内への過剰なガスの拡散。	患者から取り外す。 ウォーターパス、カートリッジ、デリバリーチューブを含んだ患者回路を交換する。
	なし	カートリッジとウォーターパスもしくはどちらかが検知されていない。	スタンバイモード状態でカートリッジの取り付け忘れ。	回路を取り外し、カートリッジの接続を確認する。
	なし	取り付けられたカートリッジのタイプ(低流量もしくは高流量)を表示する。 アラームではない。		
	重要度 中	ガス供給の圧力が28-586kPa (4-85psi)の範囲外。本体は作動しない。	ガス供給が接続されていないか、使い切った状態。	ガスの供給が正しく行われていることを確認する。
	重要度 中	現状のガス供給では使用できない設定流量。	設定流量に対して流入ガスの圧力が低すぎる。	ガスの圧力を上げる、もしくは設定流量を下げる。
	重要度 中 ミュート不可	温度が範囲外。	オーバーヒートもしくは温度センサー異常。	患者から取り外す。 本体を停止させ、製造販売元へ問い合わせる。
	なし	設定温度より2℃以上高い。	設定温度を以前の設定より低く設定した。	温度降下を待つ。
		設定温度より2℃以上低い。	滅菌水バッグの交換後の水温低下。	温度上昇を待つ。

システムエラー



システムの制御もしくは測定に異常が生じた際は、システムエラーと温度表示部分に50から84の数値(エラーコード)が表示され、酸素濃度もしくは流量表示が“-”に表示されます。エラーコードが表示されると、フローは停止します。システムエラーはミュートボタンで消音できません。リセットには、まずAC電源からコードと抜き、作動/スタンバイボタンを押してください。酸素センサーの交換を除いて、本体は製造販売元のみでの修理対応となります。